

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

富山大学 入学者受入れの方針

富山大学は、本学が掲げる教育理念、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、人文科学、社会科学、自然科学、生命科学、保健医療及び芸術文化の各分野に高い関心を持ち、幅広く豊かな教養と専門的な知識や技術を活かして、地域と国際社会に貢献しようとする高い志を持つ者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

人文学部 入学者受入れの方針

人文学部は、次のような入学者を求める。

- ・人文学を幅広く、深く学ぶために必要な基礎的能力を持っている人
- ・人文学諸分野に知的関心を持ち、人間についての理解を深めたいと考えている人
- ・異文化を理解し、多文化共生社会の中で他者と豊かな関係を築きながら自己の成長を目指す人
- ・柔軟な思考力、幅広い視野と国際感覚を身に付け、地域社会や国際社会に貢献する市民となることを目指す人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜）

大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価するとともに、本学で「小論文」を課し、論理的思考力と文章表現力を評価する。

■特別選抜（帰国生徒選抜、社会人選抜）

本学で「外国語（英語）」と「小論文」を課し、人文学部での学修に必要な読解力や論理的思考力、文章表現力などをみる。その他に、「面接」で志望動機・学修意欲なども評価する。

【入学前に学習すべきこと】

大学入学までに、様々な教科と科目について偏りなく学習しておくことが必要である。

教育学部 入学者受入れの方針

教育学部では、義務教育段階の諸学校の教師を養成することを目的としており、専門職としての教師を目指す熱意にあふれ、仲間と協力しながら専門的能力・技能を伸ばしていける以下のような学生を求める。

1. 教育を通じて、地域社会の発展に貢献しようという強い意志を持っている人。
2. 専門職としての教師を真摯に目指し、人を育てることの大切さと喜びを感じられる人。
3. 現代の教育課題を含む幅広い分野に興味・関心を持っている人。
4. 自己の考えをはっきりと表現し、他の人の考えをしっかりと受けとめることを通じて、他者と協働ができる人。
5. 高等学校における履修内容を理解し、教職を目指すために必要な学力がある人。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜）

大学入学共通テストでは、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価し、教育学部での学修に関連する科目について理解力と応用力を広く備えた人を選抜する。

本学で課す「面接」、「集団討論」により、意欲、理解力、思考の論理性、表現力等を評価し、多様な学生を選抜する。

■特別選抜（帰国生徒選抜、社会人選抜）

「小論文」を課し、課題の理解力、論理的な思考力、文章表現力を評価する。

「面接」を課し、志望動機、学修意欲を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

- ・高等学校の教育課程を幅広く修得し、基礎的知識や技能とともに、読解力、論理的思考力、表現力を身に付けておくこと。
- ・現代の教育課題や専門職としての教師の職能について理解をしておくことが望ましい。

経済学部 入学者受入れの方針

経済学部では、社会科学の分野に興味・関心を持ち、次のような能力を身に付けて積極的に地域・国際社会に貢献する意欲がある人材を求める。

- ・問題解決能力や創造力
- ・幅広い知識や専門的知識の修得
- ・他者及び多様な文化を持つ者とのコミュニケーション能力

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜）

本学で「小論文」を課し、社会科学的思考力及び文章表現力を評価する。また、「面接」を課し、社会問題への関心度、表現力、積極性及び判断力を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

高等学校までに学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語について、十分な基礎学力を身に付けておくこと。更に、創造力、責任感、コミュニケーション能力及び問題発見能力を身に付けておくこと。

理学部 入学者受入れの方針

理学部では、次のような入学者を求める。

- ・自然科学を学ぶために必要な基礎知識，論理的思考力，理解力，表現力のある人
- ・自然界の多彩な現象に強い好奇心を持ち，自然科学を広く学ぶ意欲のある人
- ・未知の問題を主体的に解明する，旺盛な探究心のある人
- ・自然科学の領域から，地域社会や国際社会に貢献したい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜）

大学入学共通テストでは高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。

本学で課す「小論文」により，各専門分野に関する思考力と文章表現力を評価し，「面接」により，各専門分野を学ぶ意欲と口頭による表現力を評価する。

■特別選抜（帰国生徒選抜，社会人選抜）

本学で課す「小論文」により，各専門分野に関する思考力と文章表現力を評価し，「面接」により，各専門分野を学ぶ意欲と口頭による表現力を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

高等学校までに学ぶ数学，理科，国語，外国語，地理歴史・公民について，十分な基礎学力を身に付けておくこと。さらには，論理的思考力，判断力，表現力，主体的に学修に取り組む姿勢なども身に付けておくこと。

医学部医学科 入学者受入れの方針

生命の尊厳を理解し，医療人として不可欠な倫理観と温かい人間性，専門性を備え，専門的知識及び技能を生涯にわたって維持し向上させる自己学習の習慣を持ち，国際的視野に立って医学，医療の発展，及び地域医療等の社会的ニーズに対応できる人材を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜）

高等学校等での学修の達成度をみるために大学入学共通テストを課す。本学で課す「面接」と「小論文」により，課題を解決しようとする意欲とコミュニケーション能力に加えて，社会への関心，とくに地域社会への関心と意欲を評価する。

■特別選抜（帰国生徒選抜）

本学で課す「数学」，「理科」，「外国語」により，医学を学ぶための基礎学力に加え，自然科学や多様な情報に対する深い洞察力，思考力，表現力を評価し，「面接」により課題を解決しようとする意欲や社会への関心とコミュニケーション能力を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

医学科では，自然科学系に加え，医療情勢に関する関心やコミュニケーション能力が要求されるため，入学までに，化学，物理学，生物学，数学，語学の基礎学力を付けておくとともに，医療を取り巻く社会情勢を学んでおくことが望ましい。

医学部看護学科 入学者受入れの方針

看護は人間の健康全般に関わる領域であり、病める人々のみでなく、その家族及び地域で生活する多くの人々から、深い信頼と多くの期待が寄せられる。これに応えるためには、学生時代から、人間性の涵養とともによく学ぶ習慣を身に付けることが必要である。このことから看護学科では、以下の素質を有する優秀な人材を求める。

- ・基礎学力があり看護学に深い関心を持つ人
- ・自ら学ぶことをめざせる人
- ・人間に強い関心を持ち、人々の安寧のために働くことを希望する人
- ・他者との連携を保てる人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜）

大学入学共通テストでは、高等学校等での学習の達成度を評価する。

本学では、「書類審査」、「小論文」及び「面接」を実施し、学習到達度、思考力、表現力、学習意欲等を評価する。

■特別選抜（帰国生徒選抜、社会人選抜）

本学では、「書類審査」、「小論文」及び「面接」を実施し、学習到達度、思考力、表現力、学習意欲等を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

看護学科では、理科系に加え文化系の総合的な学力が求められ、以下の内容が必要である。

- ・基礎学力の充実（人間の構造や機能を理解するために、理科や数学的思考力が基礎となり、人間の社会や関係を理解するために国語や社会の知識が必要）
- ・自己学修の習慣（自ら課題を見つけ、調べ、考える習慣が必要）
- ・看護学（国際的視野を含む）への関心
- ・他者との相互理解のためのコミュニケーション力

薬学部薬学科 入学者受入れの方針

薬の理解と薬学研究を通じて、人類の健康、福祉、衛生及び健全な社会環境の保全に貢献できる人材を育成するに当たり、薬学科では、次の人材を求める。

- ・薬剤師としての高度な学識と職能を得たい人
- ・医薬品の研究や臨床開発に携わることで人類と社会に貢献したい人
- ・東西医薬学の融合による統合医療の実践を目指す人
- ・医療や保健衛生の分野で社会に貢献したい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜、帰国生徒選抜）

本学では、「書類審査」、「小論文・適性検査」及び「面接」を課して、学習到達度、科学的思考力、文章表現力、学習意欲、適性等を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

薬学は、広範で多様な学問分野から成っているため、入学までに、化学、物理、生物、数学、語学の基礎学力を付けておくことが望ましい。

薬学部創薬科学科 入学者受入れの方針

薬の理解と薬学研究を通じて、人類の健康、福祉、衛生及び健全な社会環境の保全に貢献できる人材を育成するに当たり、創薬科学科では、次の人材を求める。

- ・薬学関連の研究分野で国際的に活躍したい人
- ・新薬の研究に携わることで人類と社会に貢献したい人
- ・東西医薬学の融合による医薬品の創出を目指す人
- ・疾患に関連する現象や物質に対して興味と研究心を有している人
- ・生体メカニズムの解明やそのための新しい方法論の開拓に挑戦したい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜，帰国生徒選抜）

本学では、「書類審査」，「小論文・適性検査」及び「面接」を課して，学習到達度，科学的思考力，文章表現力，学習意欲，適性等を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

薬学は，広範で多様な学問分野から成っているため，入学までに，化学，物理，生物，数学，語学の基礎学力を付けておくことが望ましい。

工学部 入学者受入れの方針

工学部では，ディプロマ・ポリシーに掲げる専門的学識，問題発見・解決力，社会貢献力，そしてコミュニケーション能力を卒業時までに修得することができる資質を有する者を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜，帰国生徒選抜，社会人選抜）

本学で課す面接，口頭試問等により，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価し，次代の地域や国際社会を支える高度若手リーダーとなる意欲を有する者や最先端の「ものづくり」に強い関心を有する者を選抜する。

【入学前に学習すべきこと】

工学を学ぶために必要となる基礎学力（数学，物理，化学，生物等）に加え，コミュニケーション能力に関連する国語や外国語（英語）をしっかりと学習しておくこと。また，世界の動向を理解するために必要な社会的知識（地理・歴史，公民）等も学習しておくこと。

芸術文化学部 入学者受入れの方針

芸術文化に関心があり、美術、工芸、デザイン、建築、キュレーションあるいは従来領域にこだわらない表現活動に対する学修意欲を持ち、社会の調和的発展に貢献しようとする高い志を持つ者を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜）

本学で「実技検査（鉛筆デッサン）」「面接」又は「小論文」「面接」を課す。「実技検査（鉛筆デッサン）」では観察力及び基礎描写力を評価し、「小論文」では論理的思考力及び文章理解・表現力を評価する。「面接」では勉学に対する意欲及びコミュニケーション能力を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

高等学校等で履修する教科・科目について、教科書で学習する基礎的な学力を身に付けておくこと。

また、デッサンによる表現、構成、観察の基礎、あるいは文章の読解と論理的思考・表現について学習しておくこと。さらに各種芸術の創作や鑑賞を通して、基礎的な造形力や豊かな感性を育てることが望ましい。

都市デザイン学部地球システム科学科 入学者受入れの方針

地球システム科学科では、次のような人材を求める。

- ・地球の成り立ちや変動、地域の自然や環境に強い関心をもつ人
- ・高等学校までの基礎学力を十分に備えている人
- ・ものごとを論理的に考えることを志向する人
- ・多様な人々と協働することを志向する人
- ・地球や地域についての知識や視点を将来の職業に活かしたい人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（帰国生徒選抜、社会人選抜）

本学で「小論文」を課し、論理的な思考力及び文章表現力を評価する。また、「面接」を課し、口頭による表現力を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

高等学校卒業までに学ぶ数学、理科、国語、外国語、地理歴史・公民について、十分な基礎学力を身に付けておくことが重要である。理科（物理、化学、生物、地学から2科目以上）、数学（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B）、英語は、特に十分な学習をしていることが望まれる科目である。

都市デザイン学部都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科

入学者受入れの方針

都市・交通デザイン学科及び材料デザイン工学科では、幅広い知識を身に付けるとともに、豊かな人間性を涵養し、地球（環境）、都市・交通、材料に関する深い専門的学識や技術を修得して、地域社会や国際社会の持続的発展に貢献する意欲のある人材を求める。このため、特に以下のような人材を求める。

- ・都市や地域の創生に興味のある人
- ・美しい都市や地域の実現に興味のある人
- ・都市のユニバーサルデザインに興味のある人
- ・地域を支える、便利で合理的な交通システムの開発や計画に興味のある人
- ・防災の在り方やその具体的な方策から、安全・安心な社会の実現に興味のある人
- ・物理学や化学の知識に基づいて、材料の様々な特性・特徴が発現する仕組みの解明に興味のある人
- ・社会や自然の環境に強い興味を持ち、新素材や新機能材料の開発に興味のある人

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

■特別選抜（学校推薦型選抜）

大学での学修に必要とされる高等学校卒業レベルの基礎学力を評価するとともに、人物に優れ、リーダーシップを有することを評価し、また、論理的思考力、判断力、表現力、学修意欲、明確な志望動機、及び都市デザイン学への関心度を評価する。

■特別選抜（帰国生徒選抜、社会人選抜）

本学で「小論文」を課し、論理的な思考力及び文章表現力を評価する。また、「面接」を課し、口頭による表現力を評価する。

【入学前に学習すべきこと】

都市デザイン学を学ぶ上で必要とされる数学、理科、外国語（英語）、国語、地理歴史・公民等について、高等学校卒業レベルの学力を身に付けておくこと。

普通科以外の高等学校の卒業者は、履修可能な数学、理科、英語に関する多くの科目を履修するとともに、特に数学については自学自習により、不足分を身に付けておくこと。また、地球（環境）、都市・交通、材料等の問題についても広く関心を持っておくこと。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のほか、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については、本学ウェブサイトをご覧ください。

（本学トップページ）→「大学紹介」→「三つのポリシー」→「学士課程の三つのポリシー」